

令和3年度

一般財団法人あかしこども財団
事業報告書



自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

～ 目 次 ～

I 事業概要	2
II 事業報告	
1 こども支援担当事業	3
2 放課後児童健全育成事業	9
3 こども研修センター運営事業	12
III 理事会・評議員会等の開催状況	16

I 事業概要

1 法人の目的

この法人は、こどもを核としたまちづくりを進める明石市において、次代の社会を担うすべてのこどもの健やかな成長を支援するための活動（以下「こども支援活動」という。）の振興に寄与することを目的とする。

2 事業

- （１）地域におけるこども支援活動への市民等の参加を促すとともに、その資質の向上を図ることに関する事業
- （２）地域におけるこども支援活動を行うものへの支援に関する事業
- （３）地域におけるこども支援活動を行うものどうしの連携協力の促進に関する事業
- （４）放課後等におけるこどもの健全な育成に関する事業
- （５）虐待・思春期問題情報研修センター事業
- （６）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3 事業構成

- （１）こども支援担当事業
- （２）放課後児童健全育成事業
- （３）こども研修センター運営事業

Ⅱ 事業報告

1 こども支援担当事業

(1) こどもの居場所づくり事業

新型コロナウイルス感染症が、一昨年に続いて猛威を振るう中、感染防止に配慮しつつ、人と人とのつながりを守る活動でもあるこども食堂が開催できるよう、運営者の不安に寄り添いながら、感染症対策を含めた運営全般の支援を行ってきました。

全体で45か所の内、37か所のこども食堂において、延べ約1万人のこどもの居場所になるとともに、多くの地域の皆さまによる子どもの見守りにつながりました。

区分	内容
延べ実施回数	437回
参加人数（延べ人数）	9,557人

① こども食堂の開設状況

新たに2か所のこども食堂が開設されましたが、1か所が閉鎖されたため、現在は45か所のこども食堂が開設されています。

【新規開設したこども食堂（2か所）】

校区	名称	運営団体	実施場所
人丸	人丸っ子レストランまんまる	人丸地区社会福祉協議会	恵泉総合ケアセンター 明石事業所
大久保	ねんりんこども食堂～憩いの場～大久保地区	ねんりんこども食堂 ボランティアチーム	大久保町公民館

【(参考) こども食堂 小学校区別箇所数（45か所）】

校区	箇所数	校区	箇所数
松が丘	1	大久保	2
朝霧	2	大久保南	1
人丸	3	山手	3
中崎	1	谷八木	3
明石	3	江井島	1
大観	1	高丘東	1
王子	1	高丘西	1
林	1	魚住	1 (※)
鳥羽	1	錦が丘	
和坂	2	清水	1
沢池	5	錦浦	2
藤江	1	二見	1
花園	1	二見北	1
貴崎	1	二見西	3

※魚住校区と錦が丘校区の運営団体は同一

② こども食堂等への感染症対策の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大により、8月の緊急事態宣言発令中は24か所のこども食堂が休止していましたが、解除後には38か所のこども食堂が再開いたしました。

ア 運営全般の支援

再開に当たっては、法人職員が各こども食堂へ訪問し、昨年度配付した「感染症対策チェックリスト」の再確認と、新たに「新型コロナウイルス感染症対策安全・安心自己点検シート」（日本小児感染症学会理事等監修）を活用し感染対策の点検を行う（点検完了後は「感染症対策宣言マーク」を掲示できる。）など、参加者や運営者の安全と地域にも配慮した運営全般の支援を行いました。

イ こども食堂研修会の実施

ヤングケアラーの存在に気づき、その支援につなげるために、ヤングケアラーの理解促進や問題意識の強化、対応力の向上を図るとともに、発達障害の子どもについての理解を深めることで対応力の向上を図るため、研修会を開催しました。

日 時：令和4年1月26日（水） 午前10時～12時

参加者：こども食堂運営者41名

内 容：立命館大学産業社会学部教授による講演

「ヤングケアラー気づきのポイント」

明石市立発達支援センターによる講演

「気になる子どもの理解と対応 ～発達障害を中心に～」

方 法：参集・オンラインとの併用によるハイブリッド型

③ こども食堂のPR

ア あかしこども食堂図鑑の改訂

コロナ禍において子どもたちに安心して参加してもらえるように各こども食堂の感染予防対策を新たに盛り込んだ、こども食堂を紹介する冊子「あかしこども食堂図鑑」の改訂版を発行しました。

イ ケーブルテレビを活用した広報

明石ケーブルテレビ「海峡のまち明石」に出演し、特集「まちのみんなで子どもを見守る あかしこども財団3周年」（令和3年5月3日～5月16日）では当法人が設立された目的・役割、主な取組の紹介等を行い、「明石版こども食堂 全28小学校区44か所を紹介」（令和3年10月4日～10月10日）ではこども食堂の紹介、食材提供の呼びかけやボランティアの募集等を行いました。

④ 食材等提供への対応

子どもたちを応援したい市民（個人）や企業・団体等の多くの方々から食材等の提供を受け、当法人がとりまとめて、希望するこども食堂に配布しました。また、提供いただいた企業や個人を財団だよりやホームページで紹介しました。

【食材等提供実績】

食品提供事業者等	食品等の内容
神戸グリーンキャッチ	キャベツ 75 玉
創味	白花豆（1 個：120 g）555 個
創味	蓮根梅がつお（1 パック：1 kg）9 パック
市総合安全対策室	パンの缶詰（1 缶：100 g）744 缶
コープこうべ	米（1 袋：5 kg）10 袋
創味	たら甘露煮（1 袋：90 g）180 袋
兵庫県漁業協同組合連合会	のり 4 種（生、味付け、焼き、手巻き用）50 ケース
あかねが丘学園	じゃがいも玉ねぎ（1 袋：レジ袋 1 枚）45 袋
創味	白花豆（1 個：120 g）467 個
コープこうべ	米（1 袋：5 kg）10 袋
創味	白花豆（1 個：120 g）305 個
四ツ橋組	お菓子詰め合わせ（1 箱：段ボール 1 箱）3 箱
創味	白花豆（1 個：120 g）492 個
明石商工会議所青年部	出汁醤油（100ml×50 本、200ml×50 本）100 本
市民（個人）	米（1 袋：5 kg）15 袋
コープこうべ	米（1 袋：5 kg）20 袋
あかねが丘学園	サツマイモ（100 kg）15 袋
創味	白花豆（1 個：120 g）430 個
こどもサポート財団	クッキー（24 枚入×80 個、14 枚入×30 個）110 個
明石商工会議所女性部	米（1 袋：5 kg）30 袋
明石商工会議所女性部	フルーツ缶詰（1 缶：825 g）60 缶
市民（個人）	砂糖（1 kg）15 袋、塩（1 kg）65 袋
明石東ロータリークラブ	お菓子詰め合わせ 1,100 セット
コープこうべ	米（1 袋：5 kg）25 袋、 トマトケチャップ（1 本：180 g）30 本
創味	丹波種黒豆（1 個：120 g）180 個
こどもサポート財団	ポテトチップス（1 袋：55 g）1,000 袋
創味	白花豆（1 個：120 g）480 個
創味	白花豆（1 個：120 g）314 個、 レンコンきんぴら（1 個：150 g）156 個、 ごぼうふくめ煮（1 個：150 g）25 個
弁理士事務所セトマキ国際特許 商標事務所	レトルトカレー（1 個：180 g）100 個
総合安全対策室	せんいのめぐみパン 17 箱
創味	白花豆（1 個：120 g）439 個、 金時豆（1 個：120 g）55 個
兵庫県漁業協同組合連合会	のり 2 種（味付け、焼き、）32 箱、 ちりめん炊き込みご飯の素 19 箱
こどもサポート財団	チーズ 30 箱×3 種（スライス 2 種、シュレット）、 バター 30 箱

(2) 地域活動支援事業

① 地域活動団体への支援

児童健全育成、子育て支援に取り組む地域活動団体が主体的に継続して実施している活動を支援するため、助成金を交付するとともに、活動現場に訪問し、地域団体の相談に対応するとともに、取組状況、感染症対策等を確認しました。

区分	団体数	活動
チャレンジコース	2	児童健全育成活動、子育て支援活動
サポートコース	2	
地域学習支援トライコース	4	勉強を苦手とする子どもへの学習指導等
地域学習支援サポートコース	5	放課後等に子どもが安心して学習することができる居場所づくりや学習指導等
未来のパパ・ママコース	3	中高生自らが主体的に計画し実践する活動

② こども夢文庫への支援

市が認定するこども夢文庫の運営を支援するため、助成金を交付するとともに、交付団体の活動現場を訪問し、取組状況、感染症対策等を確認するとともに、団体からの相談に対応しました。

団体名	場所	開催日
こども夢文庫あさぎり	朝霧小学校コミセン	毎週水・木曜日
こども夢文庫貴崎	貴崎みんなのひろば“よっといで”	毎週月・水・金曜日
こども夢文庫西明石	花園校区集会所	毎週火・金曜日
こども夢文庫大久保北	松陰厚生館	毎週水・木曜日
こども夢文庫えいがしま	江井島小学校コミセン	毎週火・水・金曜日
二見北こども夢文庫	二見北小学校コミセン	毎週水、第1・3土曜日
こども夢文庫西二見	西二見公民館	毎週火・金、第1土曜日

(3) 子育て応援企業連携事業

① 子育て応援企業

子育て支援を積極的に行っている企業にアプローチした結果、新たに子育て応援企業として22事業所を認定しました。

応援企業認定事業所数：175事業所

② 子育て応援企業との連携企画

ア 「理工系の仕事をのぞいてみよう！夏のリコチャレ2021」への協力

ピー・アンド・ジー株式会社明石工場主催のオンラインイベント「理工系の仕事をのぞいてみよう！夏のリコチャレ2021」（令和3年8月19日開催／紙おむつの構造や吸収力の実験、会社の取組紹介等）への参加者集め（5名が参加）とオンライン開催に協力しました。

イ 「夏休みこどもミニ作文コンクール」への協力

第一生命株式会社主催の「夏休みこどもミニ作文コンクール」への応募者集め（182名が参加）と、優秀賞の選定と受賞者への賞状・記念品の進呈に協力しました。

(4) こどもの権利擁護事業

① 取組概要

ア 一時保護児童との面会

こどものための第三者委員会委員（以下「第三者委員」）が、一時保護児童に面会し、一時保護児童の気持ちを聞き、委員意見と併せて明石こどもセンターへ通知します。

イ 調査及び意見通知

第三者委員が、一時保護児童や保護者等からの申出により、一時保護の継続等に関して調査を行い、第三者委員会としての意見を明石こどもセンターへ通知します。

② 組織

ア 委員数 7名（弁護士、元裁判官、専門有識者（児相所長経験者等））

イ 事務局 当法人が事務局業務を受託

③ 運用効果等

- 一時保護後、速やかに（概ね2日以内）一時保護児童と第三者委員が面会できています。
- 一時保護児童にとっては、自己の意見を表明する機会・ルートが保障・確立されています。

(5) こどもの居場所設置・運営事業 ～あかしフリースペース☆トロッコの設置・運営～

① 取組概要

学校になじめないなどの悩みを抱える子どもやその保護者とともに、安心して過ごせる居場所をつくり、多様な学びや育ちを支援し、自己肯定感を取り戻し、子どもたち一人ひとりが安心して前向きに生きることへの力を育みます。

② あかしフリースペース☆トロッコの概要

- 開所日時 平日午前9時～午後5時
- 開設場所 天文町1丁目4-12（既存住宅を活用）
- 対象者 学校になじめないなどの様々な悩みを抱える、明石市に住居を有する6歳から18歳までの子ども
- スタッフ 現場責任者1名と担当スタッフ（活動・事務）6名

③ あかしフリースペース☆トロッコの活動概要

ア 活動の進め方

子どもとスタッフとで定期的なミーティング（月1回程度）を実施し、子どもたちの声や思いを大切にしながら、その内容を決めていきます。

イ 具体的な活動

体験を通じた学びや、様々な年齢の子どもたちが一緒に活動して交流を図る異年齢交流、子ども一人ひとりのニーズに合わせた個別の学習支援や進路相談を行ったり、不登校の子どもたちの保護者が集い、お互いに悩みを共有できるトロッコ親caféを実施しました。

④ 運用効果等

活動を通じて仲間づくりができたり、生活習慣が改善したり、コミュニケーション能力が身に付くなどの効果がありました。

(6) あかしこども財団運営事業

① 学生ボランティアとの協働

ボランティア活動の充実・強化に向けた取組の可能性を探るため、ボランティア活動に携わっている学生の方々同士で語り合ってくださいボラカフェを実施しました。

日 時：令和4年2月12日（土） 午前10時～12時

参加者：市内のこども食堂等でボランティア活動をしている学生等7名

内 容：これまでの活動を振り返り、ボランティアを始めるきっかけやそこから得られたことなどや、今後のボランティア活動を充実させていく方法等

② こども夢講座「きみの未来は無限大！～企業編～」

子どもたちが明るく前向きに将来の夢や希望を育む機会となるよう、子育て応援企業と協働し、コロナ禍においても実施できるオンライン形式による「こども夢講座」を開催しました。

日 時：令和4年2月26日（土） 午後2時～3時30分

テーマ：こども夢講座「きみの未来は無限大！～企業編～」

内 容：第一生命株式会社「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～」

株式会社中市大福堂「焼き菓子づくりに挑戦！」

神戸新聞社明石総局「クラウドアプリ『ことまど』による新聞づくり」

応募数：30組

③ 一般事業主行動計画の実施

次世代育成支援対策推進法及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき策定した一般事業主行動計画を実行しました。

④ 諸規程の整備

労働施策の総合的な推進並びに労働者の安定及び職業生活充実等に関する法律の一部改正に伴い、一般財団法人あかしこども財団職員就業規則において、パワーハラスメント防止に関する規定の新設や、職員の就業環境の整備等に係る規定の見直しを行うほか、当該規則全体の規定の整備を図るため、当該規則を一部改正するとともに、関係規程についても同様に一部改正を行いました。

⑤ 職員採用試験の結果

(単位：名、倍)

	申込者数	受験者数 (a)	合格者数		倍率 (a/b)	採用者数
			一次	最終 (b)		
研修企画専門員	19	5	—	0	0	0
事務職員	30	13	7	2	6.5	2
計	49	18	7	2	6.5	2

2 放課後児童健全育成事業

(1) 放課後児童クラブ運営事業

① 児童の受け入れ

市内全28小学校の敷地内に放課後児童クラブを設置し、保護者が就業等により昼間家庭にいない児童等を授業の終了後等に受け入れ、適切な遊びや生活の場を提供しました。(ただし、花園児童クラブの運営については、花園学童運営委員会に委託)

【令和4年3月現在の受け入れ児童数】

(単位：名)

校区	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	定員数
1 松が丘	20	18	7	8	7	3	63	100
2 朝霧	55	47	37	15	7	4	165	200
3 人丸	76	34	40	33	16	3	202	339
4 中崎	32	25	12	6	3	0	78	100
5 明石	46	26	43	9	9	10	143	160
6 大観	14	11	4	2	0	0	31	80
7 王子	24	27	12	9	2	3	77	120
8 林	32	21	22	18	4	1	98	140
9 和坂	24	15	20	5	2	0	66	105
10 鳥羽	48	48	27	12	9	2	146	160
11 沢池	58	41	26	13	3	0	141	175
12 藤江	59	35	23	8	2	3	130	165
13 花園	32	36	18	17	6	1	110	120
14 貴崎	11	6	8	4	1	2	32	60
15 大久保	54	60	32	14	4	4	168	230
16 大久保南	41	33	48	20	1	2	145	230
17 高丘東	14	13	13	4	9	3	56	96
18 高丘西	33	26	18	15	9	3	104	120
19 山手	66	59	36	11	6	2	180	216
20 谷八木	36	29	9	7	1	4	86	160
21 江井島	53	24	28	7	2	0	114	170
22 魚住	36	26	9	7	5	4	87	120
23 清水	33	25	13	9	2	2	84	135
24 錦が丘	15	14	16	15	0	0	60	120
25 錦浦	46	33	26	21	6	7	139	220
26 二見	16	17	11	5	3	0	52	70
27 二見北	29	37	23	18	4	10	121	140
28 二見西	45	19	11	9	1	1	86	160
合計	1,048	805	592	321	123	75	2,964	4,211

② 夏休み期間のみの入所受入

保護者のニーズを踏まえ、今年度から全クラブで夏休み期間のみの入所受入を本格実施しました。

受入児童数：325名

③ 児童入退室管理システムの導入

クラブ運営におけるＩＴ化の推進と保護者サービスの向上を図るため、児童の入退室時刻をカードタッチで記録・管理し、保護者へ通知するシステムを導入しました。

④ アンケートの実施

保護者や児童の満足度や意見、希望するサービス等の現状を把握し、今後のより良いクラブ運営と児童の育成支援に生かすため、アンケートを実施しました。

回答率：６５．９％

満足又はどちらかというと満足（保護者）：９５．９％

児童クラブは楽しい（児童）：９２．１％

⑤ 放課後ブックサークルの実施

市民図書館所蔵の図書セットを毎月各クラブに配達し、より多くの本に触れる機会を設けました。

年間：本７８０冊、紙芝居６０冊

⑥ 発達障害が疑われる児童等への育成支援

市立発達支援センターの臨床発達心理士等の訪問により、発達障害が疑われる児童等への育成支援の充実を図りました。

令和３年７月 １児童クラブ（児童２名）

令和４年３月 １児童クラブ（児童２名）

⑦ 放課後児童支援員研修会の実施

各種研修会を実施し、放課後児童支援員による支援の質の向上を図りました。

ア 新任研修会

＜第１回＞ 日 時：４月２１日（水）午前１０時～１１時３０分

受講者：５７名

内 容：みんなのしあわせのために ～ひとごとからわがことへ～

講 師：明石市人権推進課

＜第２回＞ 日 時：１１月４日（木）午前１０時～１１時３０分

受講者：６７名

内 容：事故が起こりにくい環境を目指して

講 師：神戸市立六甲道児童館

イ 全体研修会

＜第１回＞ 日 時：６月２３日（水）午前１０時～１１時３０分

受講者：２７４名

内 容：働きやすい職場環境について

講 師：明石市総務課 コンプライアンス・訟務担当課長
指導係長（スーパーバイザー）

- ＜第2回＞ 日 時：11月18日（木）午前10時～11時30分
 受講者：293名
 内 容：気になる子どもの理解と対応 ～発達障害を中心に～
 講 師：明石市立発達支援センター 臨床発達心理士
 明石市立発達支援センター 公認心理士（前明石養護学校長）
- ＜第3回＞ 日 時：2月17日（木）午前10時～11時30分
 受講者：237名
 内 容：小学生のインターネットやSNSの現状と課題について
 講 師：NIT情報技術推進ネットワーク株式会社

ウ キャリアアップ研修

- 日 時：12月2日（木）午前10時～11時30分
 受講者：96名
 内 容：一緒に働く支援員の自立を目指したサポートについて
 ～メンタリングによる人材育成の考え方～
 講 師：兵庫教育大学 学校臨床科学コース 准教授

エ 市民救命士講習

- ＜第1回＞ 日 程：6月9日（水）～18日（金） 受講者：92名
 ＜第2回＞ 日 程：12月8日（水）～10日（金） 受講者：48名

⑧ 広報誌の発行

放課後児童クラブだより「おかえり！」を発行し、放課後児童クラブの活動を広く広報しました。

発行月：令和3年5月・7月・9月・11月、令和4年1月・3月

内 容：クラブ目標、イベント、クラブ紹介、新型コロナウイルス感染症対策等

配布先：クラブ利用児童の保護者、小学校、幼稚園、保育所、小学校コミセン等

部 数：4,500部／回

（2）放課後児童支援員認定資格研修事業

放課後児童支援員になるために必要な16科目24時間（4日間）の研修を実施しました。

- ① 日 程 10月2日（土）・10日（日）・17日（日）・23日（土）
 ② 受講者 40名（財団職員：25名、その他一般枠：市内12名、市外3名）

3 こども研修センター運営事業

(1) 実施状況

今年度計画していた18本の研修については、新型コロナウイルス感染が拡大する中、厚生労働省や明石市と開催形態等について協議した結果、一部の研修については、オンライン及びオンデマンドに変更し、5月に予定していた研修を3月に延期するなど、状況に応じて変更して実施しました。

参集による研修については、間隔を確保するため定員を減らし、オンライン及びオンデマンドによる研修については、定員を超えて受講できるように対応しました。

研修の評価としては、研修受講者にアンケートを実施したところ、「今後の業務に役に立つ」との回答が約9割の受講生からありました。また、新型コロナウイルス感染が収束した後も、オンラインによる研修と参集による研修との良い部分を組み合わせたハイブリッドな研修を実施してほしいとの要望等もあったことから、今後はより効果的な研修ができるようニーズに沿った方策を検討し実施していきます。

【研修実施状況】 ※法は法定義務研修の略

研 修 名	実施時期	定員 (名)	参加者 (名)	
児童相談所児童福祉司スーパーバイザー 義務研修A<前期> ④	6月 9日(水) ～11日(金)	60	61	オンラインに変更
児童相談所児童福祉司スーパーバイザー 義務研修B<前期> ④	6月23日(水) ～25日(金)	60	51	—
児童養護施設職員指導者研修	7月 6日(水) ～ 9日(金)	60	39	—
児童相談所児童心理司指導者研修	8月18日(水) ～20日(金)	60	30	—
教育機関・児童福祉関係職員合同研修 (オンデマンド教材による受講)	8月23日(月) ～9月 6日(月)	200	634	オンラインに変更
乳児院職員指導者研修	8月31日(火) ～9月 3日(金)	60	18	オンラインに変更
児童相談所弁護士等専門研修	9月17日(木)	40	20	オンラインに変更
児童相談所児童福祉司スーパーバイザー 義務研修C<前期> ④	9月29日(水) ～10月1日(金)	60	58	—
一時保護所指導者研修	10月13日(水) ～15日(金)	60	56	—
特別企画「虐待の世代間伝達を断つために 私たちができることを考える。」 (オンデマンド教材による受講)	11月22日(月) ～12月6日(金)	200	733	オンラインに変更
児童相談所児童福祉司スーパーバイザー 義務研修A<後期> ④	12月 8日(水) ～11日(金)	60	60	—
児童相談所児童福祉司スーパーバイザー 義務研修B<後期> ④	12月22日(水) ～24日(金)	60	49	—

研 修 名	実施時期	定員 (名)	参加者 (名)	
こころのシリーズ 「虐待を受けた子どものこころの支援」	1月12日(水) ～14日(金)	80	83	オンラインに変更
市区町村子ども家庭支援指導者研修	2月1日(火) ～4日(金)	60	46	オンラインに変更
子ども虐待対応母子保健関係職員指導者研修	2月7日(月) 3月28日(月)	200	205	オンデマンドに変更
健康障害のシリーズ「周産期からみえる虐待と予防」	2月25日(金)	80	88	オンラインに変更
児童相談所児童福祉司スーパーバイザー義務研修C〈後期〉 ^(注)	3月9日(水) ～11日(金)	60	54	—
講師等養成研修	3月18日(金)	80	136	オンラインに変更

(2) 子ども家庭総合支援拠点の設置促進に向けたアドバイザー派遣

子ども家庭総合支援拠点の整備を進め、市町村の体制強化を図るため、令和2年度から、国の「虐待・思春期問題情報研修センター事業」の取組の一つとして、「市区町村子ども家庭総合支援拠点の設置等を支援するアドバイザー派遣事業」を実施しています。

この事業は、派遣を希望する市町村が都道府県を通して当法人に派遣を依頼し、当法人が依頼内容を踏まえ候補となるアドバイザーを選定し調整を行うものです。アドバイザーは、子ども家庭総合支援拠点の立ち上げや運営に深い知識と経験を有する有識者7名と自治体職員13名で構成しています。

今年度は、各市町村より31件依頼があり、アドバイザーの派遣を調整いたしました。また、アドバイザーの派遣に加え、自治体向け相談会の実施等、さらなる事業拡充に取り組みました。拠点には自治体の児童人口規模により5つの類型（小規模A型・小規模B型・小規模C型・中規模型・大規模型）があり、設置に向けては類型それぞれの課題等があることが想定されることから、年度前半は都道府県向けの説明会及び各自治体の規模別による相談会をオンラインにより開催しました。年度後半は、拠点設置の基本的な理解を広げるとともに、アドバイザーの派遣促進を目的として、事前に受け付けた質問に答える形での説明会を開催するとともに、広く全国の自治体に周知できるよう有識者アドバイザーによるオンデマンド動画をホームページに掲載しました。

本事業の評価としては、オンラインを活用した取組により、広範囲にわたる自治体に周知することができたため、アドバイザーの派遣依頼の増加につながったものと考えます。また、相談会等のアンケートを実施したところ、「拠点の開設に向けて知りたい情報を得られた」「自治体アドバイザーの実践を自治体内の関係部署でも視聴できた」等、拠点への認識を共有することに役立てることができた自治体もありました。今後はより自治体のニーズに沿った情報提供を行い、アドバイザー派遣依頼の増加につながる取組を実施していきます。

【アドバイザー派遣の依頼状況】

	依頼元（件）			依頼件数 （件）	調整件数 （件）	途中辞退 （件）
	都道府県・政令・中核市	市	町			
秋田県	1			1	1	
福島県		2	1	3	3	
群馬県			1	1	1	
千葉県		3		3	3	
山梨県		1		1	1	
長野県	6			6	6	
愛知県		1		1	1	
兵庫県	1			1	1	
奈良県	1	1		2	2	
和歌山県	1			1	1	
山口県	1			1		1
高知県	1	1	1	3	3	
福岡県	1	1		2	2	
佐賀県		1		1	1	
長崎県		1		1	1	
熊本県	1			1	1	
宮崎県	1			1	1	
沖縄県			1	1	1	
計	15	12	4	31	30	1

【アドバイザー派遣の依頼内容】

依頼内容	件数（件）
①拠点の立ち上げに当たっての助言	11
②都道府県（児童相談所）等が主催する管内市町村向け研修会	15
③市町村が主催する管内関係機関向け研修会	4
④拠点開設後の運営に関する助言	1
合計	31

【市区町村相談会の実施状況】

相談会名	実施日	当日参加 自治体数	オンデマンド配信 視聴回数（回）
都道府県	6月1日（火）	21	105
小規模A①	6月8日（火）	39	442
小規模B・C①	6月15日（火）	30	259
小規模A②	6月22日（火）	53	205
大規模・中規模	6月30日（水）	13	153
小規模A③	7月14日（水）	87	148
小規模B・C②	7月20日（火）	34	75
政令・中核市/特別区	7月26日（月）	22	38
市区町村説明会	12月21日（火）	205	240
合計		504	1,665

【有識者アドバイザーによるオンデマンド動画視聴状況】

令和3年12月より配信開始		令和4年1月より配信開始	
アドバイザー	オンデマンド配信 視聴回数（回）	アドバイザー	オンデマンド配信 視聴回数（回）
①	688	⑥	133
②	357	⑦	201
③	220		
④	406		
⑤	230		
合計			2,235

（３）児童相談所児童福祉司スーパーバイザーを育成する立場にある指導的職員へのブロック研修の実施状況

今年度より新規事業として実施したブロック研修は、全国的な児童虐待通告件数の増加や死亡・重篤事例の発生という背景の下、法的権限を行使する児童相談所職員の専門性のさらなる充実・強化を図り、新任児童福祉司等の指導教育を担うスーパーバイザー及びそのスーパーバイザーを育成する立場にある指導的職員に、必要な知識や視点を学ぶことを主眼とし、全国児童相談所長会の各ブロック単位（７ブロック）に分割して研修を開催しました。

当初参集による研修を予定していましたが、各ブロックからの意向や新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、その多くがオンラインによるものとなりました。

研修の評価としては、研修への期待値が高かった項目は、人材育成、モチベーションの高め方等、組織マネジメントに関連した項目が多くあり、実際研修に参加した受講生から、ポジティブに業務に取り組むことができる組織体制の整備や、自分で気づける・考えられる土壌づくりが必要、指導的職員が組織づくりのキーパーソンであるという認識が持てた等の感想をいただきました。今後は、指導的職員としての知見やノウハウを蓄積し、共有していくことができる仕組みづくりを検討していきます。また、同じ立場の者との意見交換や、ネットワーク構築できる機会を持つこと及び多忙な現場の指導的職員が１人でも多く参加できるよう開催方法にも工夫していきます。

【実施状況】

研修名	実施時期	定員（名）	参加者（名）	実施方法
近畿ブロック	12月2日（木）	40	28	兵庫県にて開催
関東甲信越ブロック①	12月14日（火）	40	14	長野県にて開催
東海北陸ブロック	1月25日（火）	40	29	オンラインに変更
関東甲信越ブロック②	1月28日（金）	40	31	オンラインに変更
中国・四国ブロック	2月8日（火）	40	16	オンライン
北海道・東北ブロック	2月10日（木）	40	31	オンライン
九州ブロック	2月15日（火）	40	18	オンラインに変更
合計		280	167	

Ⅲ 理事会・評議員会等の開催状況

1 理事会

区分	内容	
第1回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和3年4月16日(金)
	議題	議案第1号 令和3年度一般財団法人あかしこども財団 収支予算(補正)について
第2回 (書面決議)	決議があったと みなされた日	令和3年5月19日(水)
	議題	議案第2号 令和3年度一般財団法人あかしこども財団 収支予算(補正)について
第3回	日程	令和3年6月2日(水)
	議題	議案第3号 令和2年度一般財団法人あかしこども財団 事業報告について
		議案第4号 令和2年度一般財団法人あかしこども財団 収支決算について
第4回	議題	議案第5号 一般財団法人あかしこども財団 令和3年度第1回評議委員会の招集について
	日程	令和3年11月29日(月)
第5回	議題	一般財団法人あかしこども財団の法人形態について
	議題	令和4年1月11日(火)
		議案第6号 公益財団法人への移行について
		議案第7号 一般財団法人あかしこども財団 令和4年度事業計画について
		議案第8号 一般財団法人あかしこども財団 令和4年度収支予算について
第6回	議題	議案第9号 理事の選任について
	議題	令和4年3月8日(火)
		議案第10号 役員賠償責任保険契約の内容について
		議案第11号 一般財団法人あかしこども財団 令和4年度事業計画の一部変更について
第7回 (書面決議)	議題	議案第12号 一般財団法人あかしこども財団 令和4年度収支予算の一部変更について
	決議があったと みなされた日	令和4年3月29日(火)

2 評議員会

区分	内容	
第1回	日程	令和3年6月22日(火)
	議題	議案第1号 令和2年度一般財団法人あかしこども財団 収支決算について

区分	内容	
		報告事項 1 令和 2 年度一般財団法人あかしこども財団 事業報告について 報告事項 2 令和 3 年度収支予算書 補正予算について
第 2 回	日程	令和 4 年 2 月 7 日 (月)
	議題	議案第 2 号 公益財団法人への移行について 議案第 3 号 定款の変更について 議案第 4 号 理事、監事及び評議員の報酬等について 議案第 5 号 理事の選任について

3 監査

区分	内容
日程	令和 3 年 5 月 1 9 日 (水)
内容	一般財団法人あかしこども財団令和 2 年度会計及び業務監査